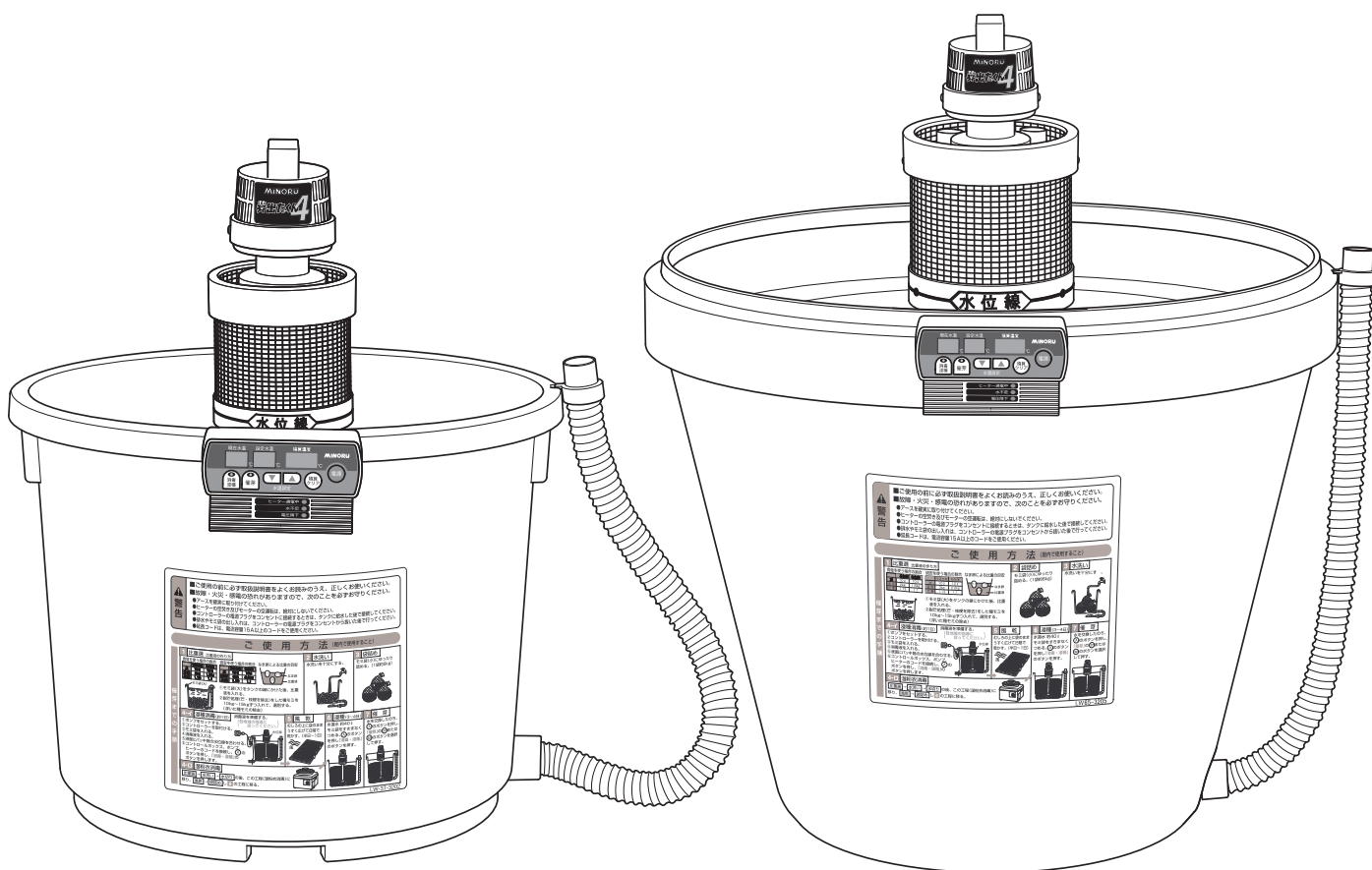


遠赤曝気式
催芽機

芽出たくん4

取扱説明書


LW-37 LW-65





このたびは、『遠赤曝気式催芽機』をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は大切に保存し、必要なときお読みください。

はじめに

- この取扱説明書は、催芽機を安全に使っていただくために守っていただきたい基礎的事項、及び催芽機を適切な状態で使っていただくための正しい取扱いに関する技術的事項を中心に構成しております。
- 催芽機を初めてご使用されるときはもちろん、日頃の取扱いの前にも初心に立ち返り入念に読み、十分理解され安全・確実な取扱いを心がけてください。
- 催芽機を貸与または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただきこの取扱説明書を催芽機に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかにご購入いただいた販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が本催芽機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- もし、おわかりにならない点がございましたら、ご遠慮なくご購入いただいた販売店にご相談ください。
- この催芽機は、稲モミ用催芽機ですので他の用途には絶対に使用しないでください。
- 取扱説明書の中の  **重要** の表示は、下記のように安全上、取扱上の重要なことを示しております。よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

 警告	警告に従わなかった場合、死亡または損傷を負う危険性があるものを示しています。
 注意	警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示しています。
重要	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用ください。

目次

安全上のご注意	1～2
使用上のご注意	3
各部の名称・安全表示ラベル貼付位置	4
コンセントへの接続方法・操作パネルの名称	5
操作パネルの取扱い	6
催芽までの作業工程	7
ご使用方法	7～10
お手入れ・保管	11
仕様	11
不調時の処置	12～13

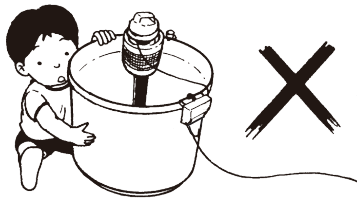
安全上のご注意

警告

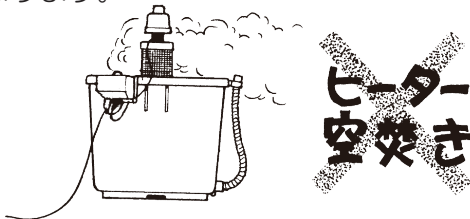
アースを確実に取付けてください。
漏電や故障のときに感電するおそれがあります。



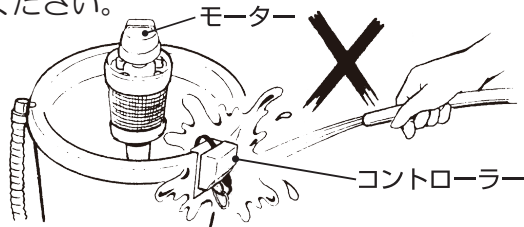
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。
感電やけがをするおそれがあります。



ヒーターの空焚きは、絶対にしないでください。
火災の原因になります。

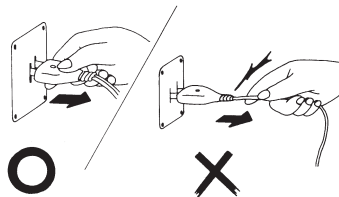


モーターやコントローラーに水をかけないようにしてください。水がかかると、火災・感電・漏電・故障のおそれがあります。
万一、水がかかった場合は、十分に乾かした後に通電してください。



注意

電源プラグを抜くときは、電源を「切」にして電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。
また、電源プラグを差込むときは、コンセントと電源プラグの間にスキマのないよう奥まで差込んでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

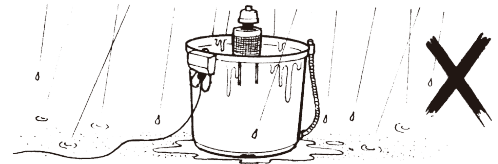


部品の取付け、取外し及びお手入れするときは、電源を「切」にして電源プラグを抜き、ポンプ電源・ヒーター電源を抜いてから行ってください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

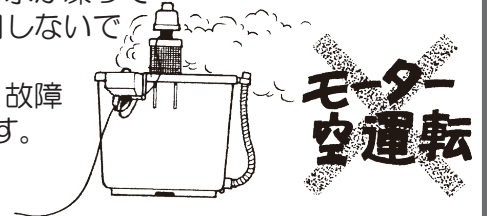
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、改造はしないでください。
発火したり異常動作してけがをするおそれがあります。



本催芽機は、屋内用ですので、雨水がかからない場所でご使用ください。
モーターやコントローラーに水がかかると、火災・感電・漏電・故障のおそれがあります。

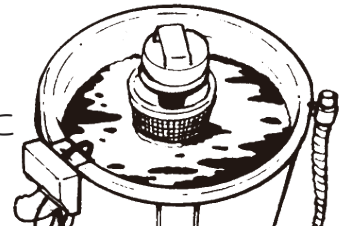


モーターの空運転は、絶対にしないでください。
また、タンク内の水が凍っている場合は、使用しないでください。
火災・感電・漏電・故障の原因になります。

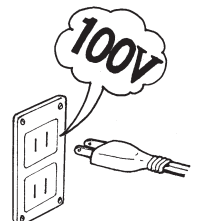


種子消毒剤によっては、本催芽機を使用すると粘着物（黒色）が発生する場合があります。
使用中に粘着物（黒色）が発生した場合は、粘着物を取り除いてください。
粘着物等がフロートスイッチに付着するとフロートスイッチが動かなくなり、水不足でもフロートスイッチが動かずヒーターの空焚きにより火災の原因になります。

フロートスイッチが動かない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



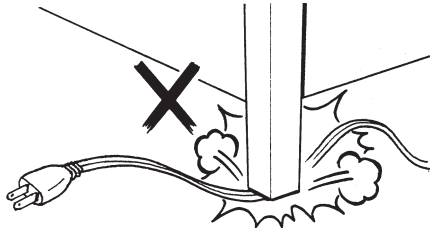
交流100V以外では、使用しないでください。
火災・感電・漏電の原因になります。



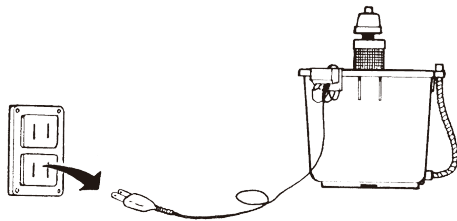
安全上のご注意

⚠ 注意

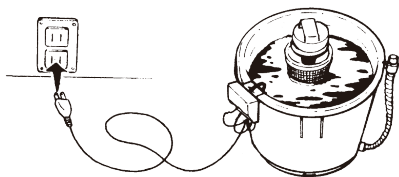
電源コードを傷つけたり、破損したり、重い物を載せたり、はさみ込んだりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



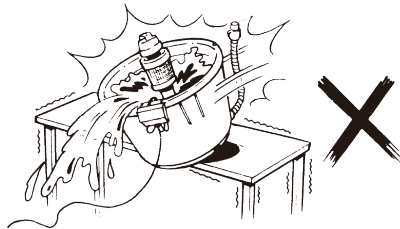
使用時以外は、電源を「切」にしてコントローラーの電源プラグをコンセントから抜いてください。コントローラーやポンプをタンクから取出すときも電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



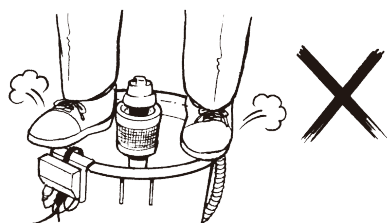
コントローラーの電源プラグをコンセントに接続するときはタンクに給水してから接続してください。ヒーターの空焚きにより火災の原因になります。



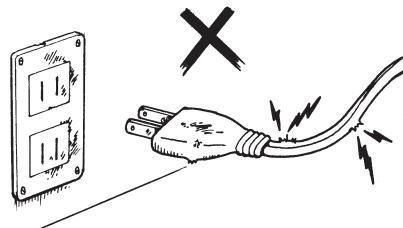
不安定なところでは使用しないでください。本機が倒れ、けがの原因になります。



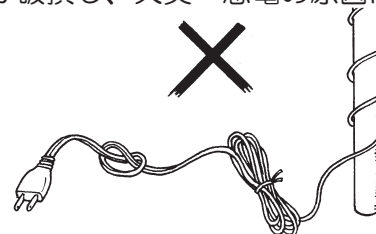
上にのったり、重い物を載せないでください。こわれたり、倒れたりして、けが・故障の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



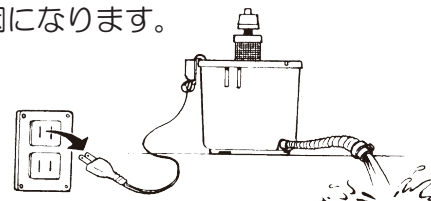
電源コードを無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



延長コードは、電流容量15A以上のコードをご使用ください。また、たこ足配線をしないでください。電圧降下で正常に作動しなかったり、火災の原因になります。



排水やモミ袋の出し入れをするときは、電源を「切」にして、コントローラーの電源プラグをコンセントから抜いた後で行ってください。モーターの空運転・ヒーターの空焚きにより故障・火災の原因になります。



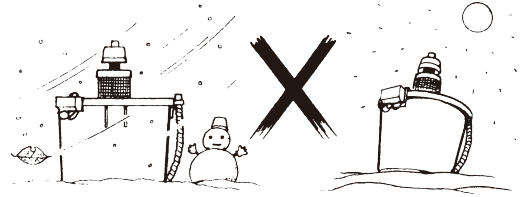
運転中は、移動させないでください。けが・感電・故障の原因になります。



重要 使用上のご注意

本催芽機は、屋内用です。寒風や直射日光があたらない場所でご使用ください。センサーが機能しなくなり、水温制御ができなくなります。

- 寒風があたり水温が設定温度に達しないことがあります。また、直射日光があたり水温が設定温度より高くなる場合があります。



【設定水温より催芽機タンク内の水温が高い場合の処置について】

本催芽機は、ヒーターによりタンク内の水を温めることはできますが、冷やすことはできません。このため、設定水温より催芽機タンク内の水温が高い場合、発芽迄日数が早まったり、発芽ムラが発生するおそれがありますので、下記の対処を行ってください。

《対処方法》

- ① 直射日光が当たって水温が高い場合
屋内で直射日光が当たらず、なるべく温度変化の少ない、冷所に催芽機を設置してください。
 - ② 外気温が高く水温が高い場合
タンク内の水を入れ替えてください。水道から出た水は低温であることが多いので、水温が低くなる場合があります。
- ※ 上記の対処を行っても水温が下がらない場合は、取扱説明書の通り水温設定ボタンで水温を設定して、催芽機のポンプによるタンク内の水の循環および酸素の供給を行ってください。また、各地域の指導機関にお問合せいただき、指導に従ってください。
- 水温は、設定温度一定にはなりません。
設定温度より「現在水温」表示が1℃高くなるとヒーターの作動が停止し、1℃低くなるとヒーターが作動します。しかし、外気温が低い場合や寒風があたっていると、ヒーターが作動してもすぐに水温は上がりません。（ヒーターが水を温め始めるまで水温が下がる場合があります。）
※「現在水温」はサーミスタ付近の水温を表示します。
 - モーターやコントローラーに水をかけないようにしてください。万一、水がかかった場合は、十分に乾かした後に通電してください。
 - 本催芽機に使用する水は、水道水をご使用ください。モミの病気および部品の腐食の原因になります。

各部の名称・安全表示ラベル貼付位置

曝気筒

水の浄化と酸素の補給をおこなう装置です。

水位線

水位線は水量にあわせて上下調節して、ワイヤーバンドでセットします。

ワイヤーバンド

排水ホース



使用法ラベル
LW65-3205(1)

ヒーター

過熱防止装置付
水温が40℃になると働きます。

サーミスタ

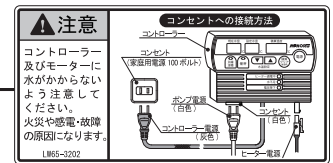
水温を検知します。

保温カバー（支え棒付）

催芽時に保温効果があります。

ポンプ、モーター

タンク



注意ラベル
LW65-3202

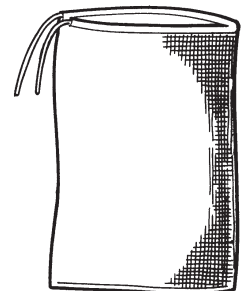
コントローラー

コントローラー電源 （灰色）

フロートスイッチ

水不足を検知します。
空焚き防止の安全装置です。
水不足の場合ヒーターは「切」になります。

アース棒

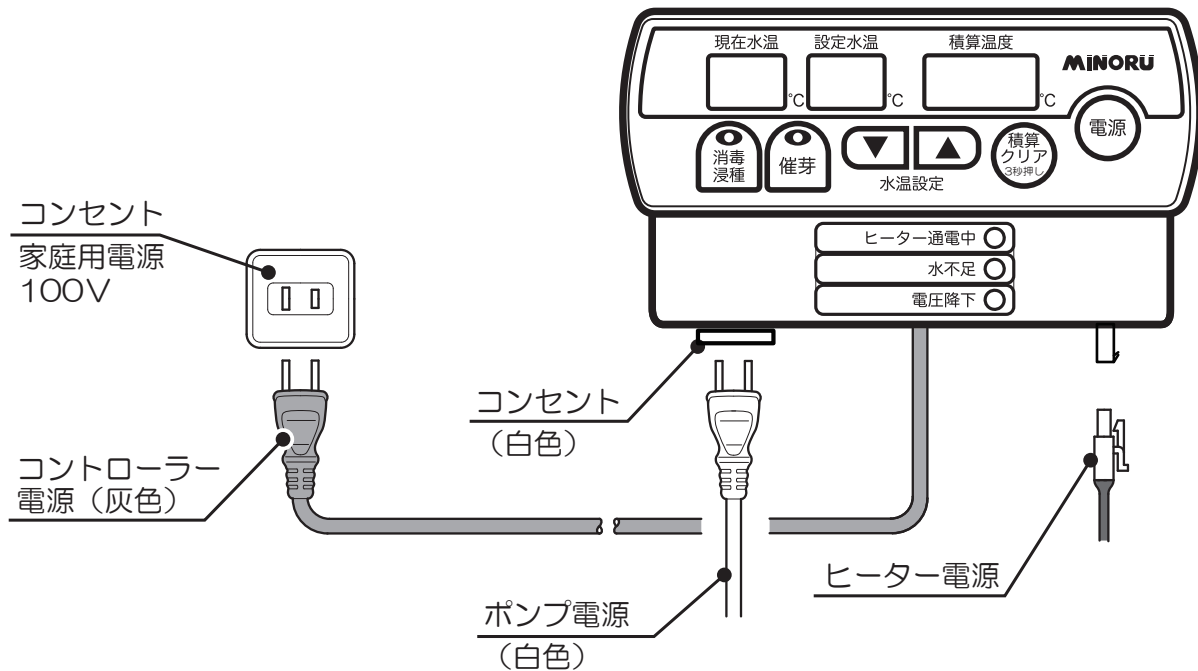


モミ袋

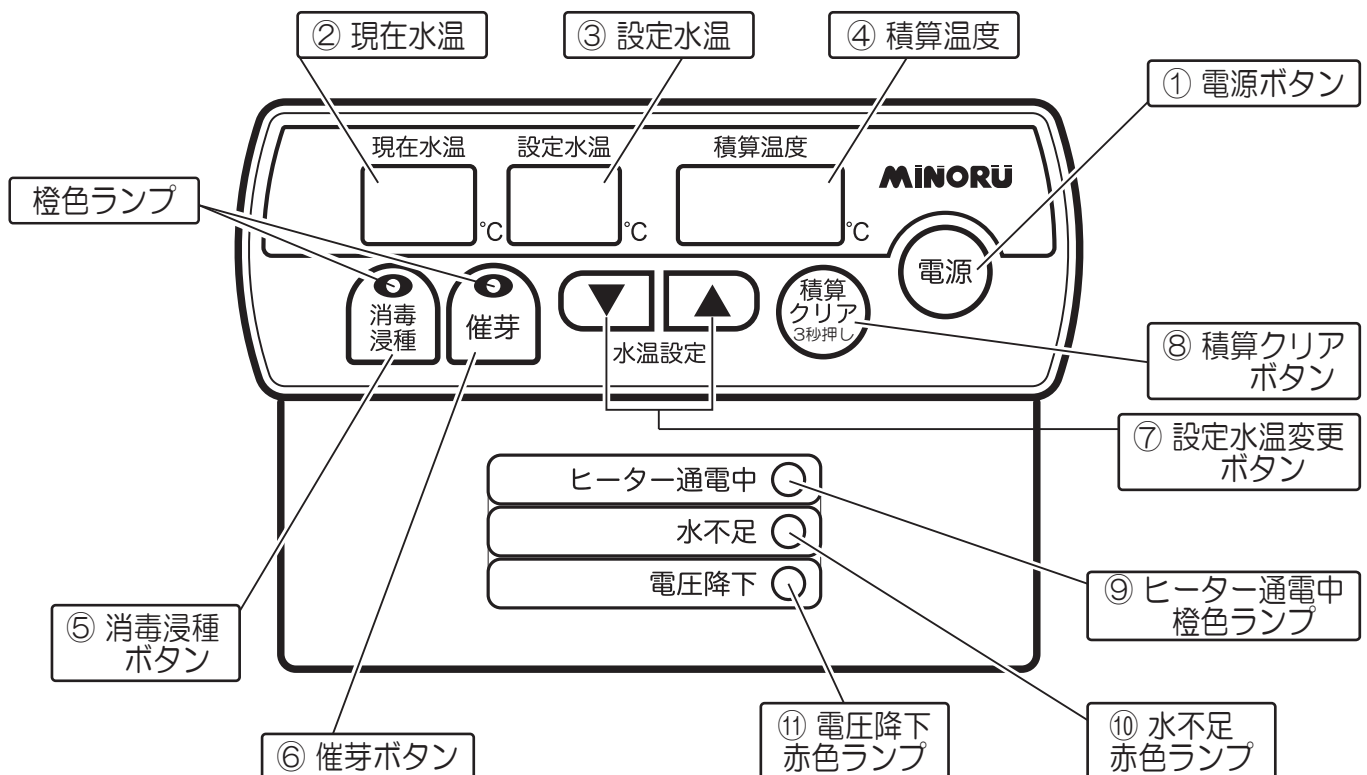
コンセントへの接続方法

重要

コンセントへの接続間違いをすると水温コントロールができなくなり、水温が上がりません。



操作パネルの名称



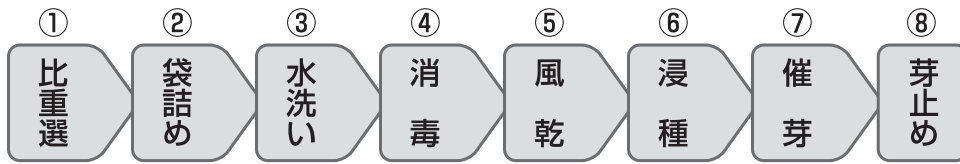
※ 静電気等により、一時的に水温等の表示が乱れる場合がありますが、作業動作には問題ありません。

操作パネルの取扱い

① 電源ボタン	電源を「入」「切」します。電源を「入」にすると、ポンプが作動します。
② 現在水温	タンク内の水温を表示します。(小数点以下を四捨五入して表示します。) ※ サーマスタ(3頁 参照) 付近の水温を検知します。 (タンク上面より35cm下方位置) <表示範囲 0℃~50℃> 【0℃】より低いときは、【Lo】と表示されます。 【50℃】より高いときは、【Hi】と表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; float: right;">【Lo】表示の場合 ヒーターに通電 しません。</div>
③ 設定水温	設定水温を表示します。 ※ 設定水温より外気温が高い場合は、タンク内の水温は設定水温より高くなる場合があります。
④ 積算温度	積算温度を表示します。(積算中は、小数点部が点滅します。) ※ ・電源「入」の場合のみ積算します。 ・品種、種籾の性質・状態、浸種の程度によって、催芽時間に幅があります。必ず籾の状態を確認し、程度を見ながら「はと胸状態」になるように仕上げてください。
⑤ 消毒浸種ボタン	消毒、浸種作業を「入」「切」します。(「入」の時、橙色ランプ点灯) 作業状態(ランプ点灯状態)時に再度消毒浸種ボタンを押すと「切」(ランプ消灯)になり、ヒーターに通電しなくなります。 ※ ・⑦設定水温変更ボタンで、12℃~17℃の間で設定できます。 ・常温で浸種する場合は、消毒浸種ボタンを押さないでポンプだけ作動した状態で行ってください。
⑥ 催芽ボタン	催芽作業を「入」「切」します。(「入」の時、橙色ランプ点灯) 作業状態(ランプ点灯状態)時に再度催芽ボタンを押すと「切」(ランプ消灯)になり、ヒーターに通電しなくなります。 ※ ⑦設定水温変更ボタンで、25℃~35℃の間で設定できます。
⑦ 設定水温変更ボタン	各作業の水温を設定します。 ▼ を1回押すと設定温度が1℃下がります。 ▲ を1回押すと設定温度が1℃上がります。 下限温度未満の設定や上限温度を超える設定はできません。設定温度範囲外を設定しようとしたときは、警告音が「ピピッ」と鳴ります。
⑧ 積算クリアボタン	3秒間長押しで、積算温度を「0」にします。
⑨ ヒーター通電中	ヒーター通電中は、橙色ランプが点灯します。 一旦、「現在水温」が「設定水温」まで上昇すると ・「現在水温」が「設定水温」より1℃高くなるとヒーターに通電しなくなります。 ・「現在水温」が「設定水温」より1℃低くなるとヒーターに通電します。 ※ 「現在水温」が【Lo】表示の場合、ヒーターに通電しません。
⑩ 水不足	作業中に水不足になると赤色ランプが点灯します。 ※ 水不足になると赤色ランプが点灯し、水温表示部に「Err」と点滅表示します。また、ヒーターに通電しなくなります。 水位線(種モミが十分つかる)まで給水してください。 水不足の赤色ランプが消灯するまで給水すると、ヒーターに通電します。
⑪ 電圧降下	電圧が降下し、性能が低下 または 低下するおそれがある場合、赤色ランプが点灯します。
設定水温・積算水温の記憶機能(バックアップ機能) ----- 電源を「切」にしたり、停電の場合でも、「設定水温」「積算水温」を記憶しています。 電源を「入」にすると、前回到電源を「切」にした状態になります。	

催芽までの作業工程

●浸種消毒の作業工程



※本ページの「ご使用方法」を①からお読みください。

●湿粉衣消毒の作業工程

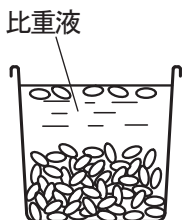


※浸種以降は9ページ「ご使用方法」を⑥からお読みください。

ご使用方法 (催芽までの手順) ※屋内で使用のこと

① 種モミの比重選

タンクに比重液を入れます。
脱芒処理(芒・枝梗を除去)をした種モミを10kg~15kgずつ入れて、ていねいに選別します。(浮いた種モミの除去)



比重液の作り方

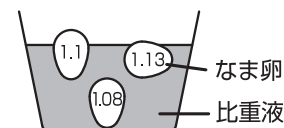
食塩を使う場合の割合

	うるち米	もち米
水	10ℓ	10ℓ
食塩	2kg	1.6kg
比重	1.13	1.1

硫酸を使う場合の割合

	うるち米	もち米
水	10ℓ	10ℓ
硫酸	3kg	2.2kg
比重	1.13	1.1

なま卵による比重の目安

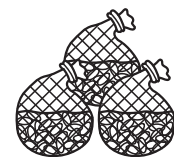


重要

催芽機のタンクを使用して比重選を行う時は、必ずコントローラーおよびポンプを取外してください。
フロートスイッチの故障の原因になります。

② 袋詰め

比重選した種モミを付属のモミ袋にゆったりした状態に入れます。
(1袋約6kg)



③ 水洗い

袋詰めした種モミは、水道水で十分に水洗いします。

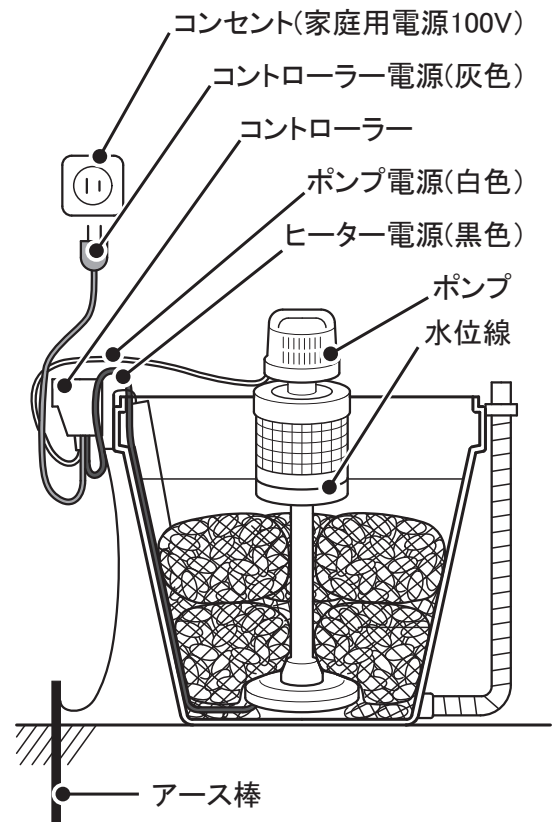


ご使用方法(催芽までの手順) ※屋内で使用のこと

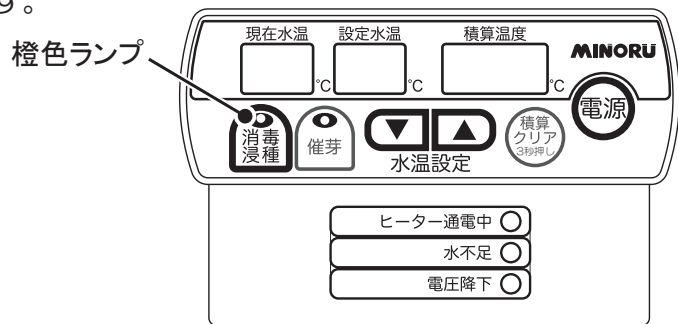
④ 消毒(約1日)

各地域の指導に従って、消毒液を準備してください。
12℃～17℃の温度設定ができます。
各地域の指導に従ってください。
※ 品種や地域により作業日数(時間)が異なります。

1. ポンプをタンクの中央にセットします。
2. アース棒を地面に確実に打ち込みます。
3. コントローラーをタンクに取付けます。
4. 排水ホースを右図のようにタンクの縁に掛けます。
5. モミ袋を空間ができないように詰めます。
6. 種モミが十分つかるまで消毒液を入れます。
7. 液面に曝気筒の水位線を合せます。
(種モミの少ない場合は、水位線まで消毒液を入れてください。)
8. ポンプ電源、ヒーター電源をそれぞれコントローラーのコンセントに接続します。
9. コントローラーの電源プラグをコンセント(家庭用電源100V)に接続します。
10. 電源ボタンを押し電源を「入」にします。



11. 積算温度表示が「0」でないとき、積算クリアボタンを3秒長押しして「0」にしてください。
12. 消毒浸種ボタンを押します。橙色ランプが点灯します。
13. 水温設定ボタンで水温を設定します。12℃～17℃の温度設定ができます。(12℃～17℃範囲外の設定をしようとした場合は、警告音が「ピピッ」と鳴ります。)



- 途中で消毒作業をやめる場合は、もう一度 消毒浸種ボタンを押してください。橙色ランプが消灯します。

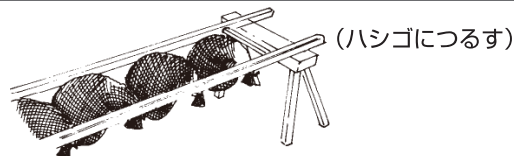
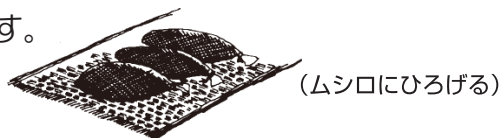
注) 常温で消毒する場合は、電源を「入」にし消毒浸種ボタンを押さずにポンプだけ作動した状態で行ってください。

消毒作業が終了したら、電源ボタンを押し電源を「切」にし、コントローラーの電源プラグをコンセントから抜いた後、排水ホースを横に倒して排水してください。

ご使用方法(催芽までの手順) ※屋内で使用のこと

5 風 乾 (約1日)

薬の効果を高めるために
日陰で乾かします。

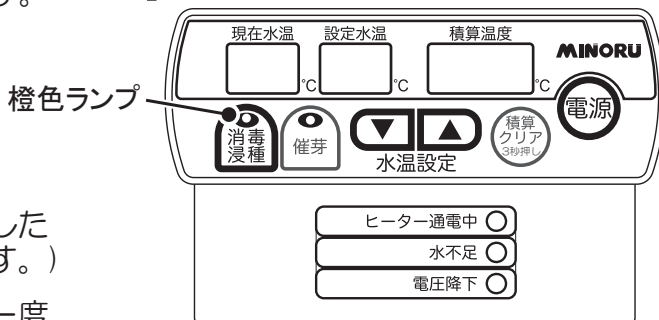
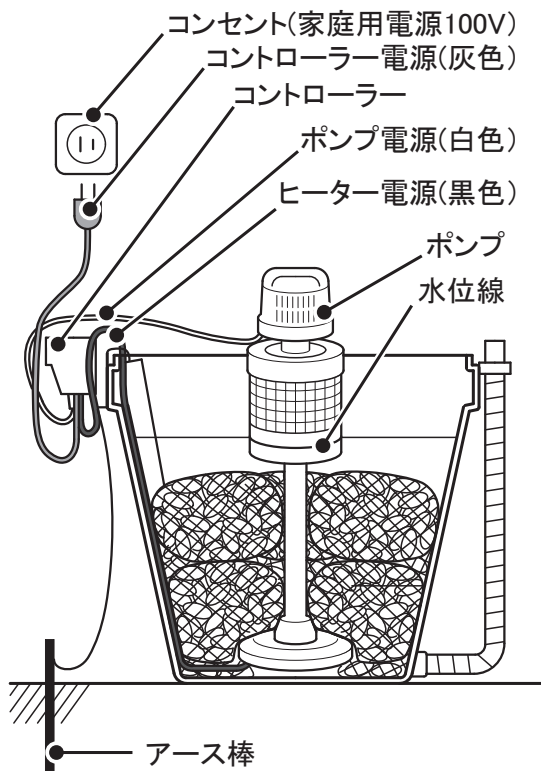


各地域の指導に従ってください。
※ 品種や地域により作業日数(時間)が異なります。

6 浸 種 (3~4日)

12℃~17℃の温度設定ができます。各地域の指導に従ってください。
※ 品種や地域により作業日数(時間)が異なります。

1. ポンプをタンクの中央にセットします。
 2. アース棒を地面に確実に打ち込みます。
 3. コントローラーをタンクに取付けます。
 4. 排水ホースを右図のようにタンクの縁に掛けます。
 5. モミ袋をタンクに入れます。
 6. 種モミが十分つかるまで水を入れます。
 7. 水面に曝気筒の水位線を合せます。
(種モミの少ない場合は、水位線まで水を入れてください。)
 8. ポンプ電源、ヒーター電源をそれぞれコントローラーのコンセントに接続します。
 9. コントローラーの電源プラグをコンセント(家庭用電源100V)に接続します。
 10. 電源ボタンを押し電源を「入」にします。
 11. 消毒浸種ボタンを押します。
橙色ランプが点灯します。
 12. 水温設定ボタンで水温を設定します。
12℃~17℃の温度設定ができます。
(12℃~17℃範囲外の設定をしようとした場合は、警告音が「ピピッ」と鳴ります。)
- 途中で浸種作業をやめる場合は、もう一度消毒浸種ボタンを押してください。
橙色ランプが消灯します。



注) 常温で浸種する場合は、電源を「入」にし消毒浸種ボタンを押さないで
ポンプだけ作動した状態で行ってください。

重要 種モミに含まれる発芽阻害物質が水中に溶出しますので、水がにごったり
悪臭がする場合は、すみやかに水を取り替えてください。

浸種作業が終了したら、電源ボタンを押し電源を「切」にし、コントローラーの
電源プラグをコンセントから抜いた後、排水ホースを横に倒して排水してください。

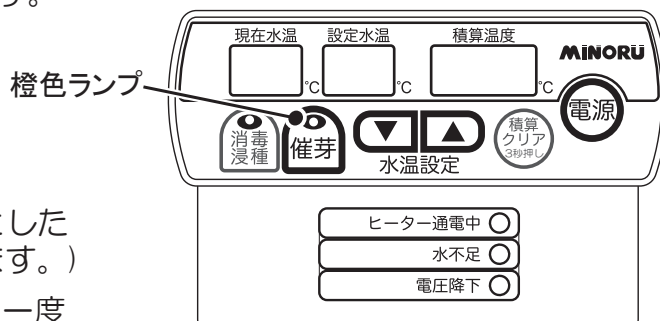
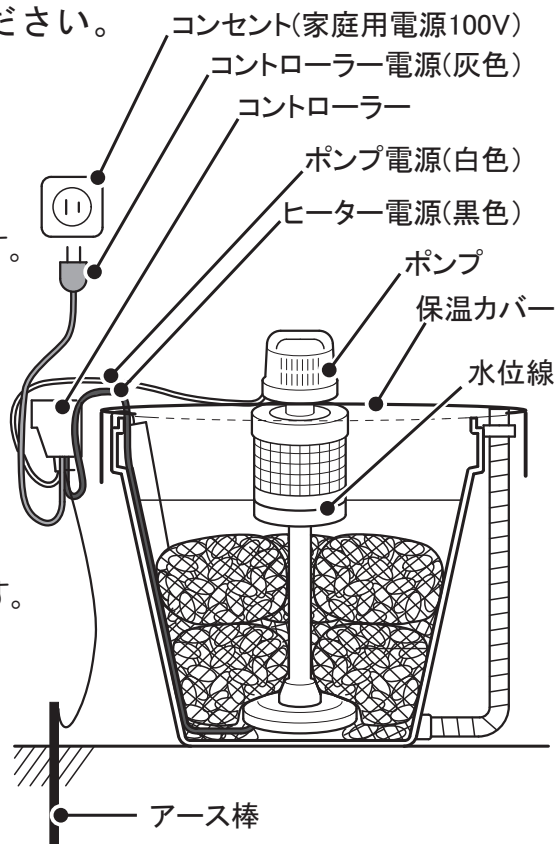
ご使用方法(催芽までの手順) ※屋内で使用のこと

7 催芽(約1日)

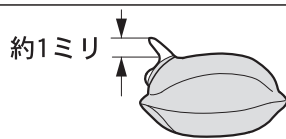
25℃～35℃の温度設定ができます。各地域の指導に従ってください。
※ 品種や地域により作業日数(時間)が異なります。

重要 催芽作業の前には必ず水を交換してください。

1. ポンプをタンクの中央にセットします。
 2. アース棒を地面に確実に打ち込みます。
 3. コントローラーをタンクに取付けます。
 4. 排水ホースを右図のようにタンクの縁に掛けます。
 5. モミ袋をタンクに入れます。
 6. 種モミが十分つかるまで水を入れます。
 7. 水面に曝気筒の水位線を合せます。
(種モミの少ない場合は、水位線まで水を入れてください。)
 8. 保温カバーをタンクの上面にかけます。
ポンプは保温カバーの中央の穴から外に出します。
 9. ポンプ電源、ヒーター電源をそれぞれコントローラーのコンセントに接続します。
 10. コントローラーの電源プラグをコンセント(家庭用電源100V)に接続します。
 11. 電源ボタンを押し電源を「入」にします。
 12. 催芽ボタンを押します。
橙色ランプが点灯します。
 13. 水温設定ボタンで水温を設定します。
25℃～35℃の温度設定ができます。
(25℃～35℃範囲外の設定をしようとした場合は、警告音が「ピピッ」と鳴ります。)
- 途中で催芽作業をやめる場合は、もう一度催芽ボタンを押してください。
橙色ランプが消灯します。



- 3～4時間後には設定した温度の温水になります。
- 6時間位経過した頃から発芽が始まります。
- 白い芽が約1ミリ位のぞいたら作業を中止します。

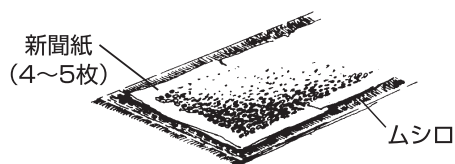


催芽作業が終了したら、電源ボタンを押し電源を「切」にし、コントローラーの電源プラグをコンセントから抜いた後、排水ホースを横に倒して排水してください。

8 芽止め

各地域の指導に従ってください。※品種や地域により作業日数(時間)が異なります。

- 芽の成長を止めるための作業です。
種モミが十分につかるまで水道水を入れて冷やします。
- 水切りした後、右図のように種モミを陰干しします。



お手入れ・保管

警告

- お手入れするときは、電源ボタンを押し電源を「切」にしてコントローラーの電源プラグを抜いてから行ってください。
- モーターやコントローラーに水がかからないように注意してください。
モーターやコントローラーに水がかかると火災・感電・漏電・故障の原因になります。
万一水がかかった場合は、十分に乾かしてください。
- 本体のお手入れは、モーター・コントローラー以外をきれいに水洗いしてください。
シンナー・ベンジン・アルコールなどでふかないでください。プラスチックが変形することがあります。
- 保管するときは各部をよく乾かした後、梱包箱に入れ、湿気の少ないところに保管してください。
尚、本機の上に重い物は載せないでください。
- コード類をネズミ等にかじられないように注意してください。

仕様

名 称	遠赤曝気式催芽機	
愛 称	芽出たくん4	
型 式	LW-37	LW-65
電源・周波数	AC100V・50/60Hz	AC100V・50/60Hz
消費電力	510W (ヒーター500W・モーター10W)	918W (ヒーター900W・モーター18W)
循環水量	8ℓ(50Hz)・10ℓ(60Hz)/分	24ℓ(50Hz)・28ℓ(60Hz)/分
モミ処理重量	30kg (乾燥モミ重量)	60kg (乾燥モミ重量)
タンク容量	70ℓ	170ℓ
タンク寸法	φ550mm×425mm	φ740mm×640mm
付 属 品	モミ袋…5枚 保温カバー…1枚	モミ袋…10枚 保温カバー…1枚
安全装置	・フロートスイッチによる空焚き防止装置 ・過熱防止装置 (ヒーター内蔵型)	

不調時の処置

- 水温が設定温度まで上がらない場合、下記内容に従ってご確認のあと、直らないときはお買い上げの販売店にご相談ください。

原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● 水不足になっているため、ヒーターに通電していない。 <ul style="list-style-type: none"> ・水不足 赤色ランプが点灯している。 ・水温表示部が「Err」と点滅している。 ● 寒風があたる外気温の低い場所で使用している。 ● 電流容量15A以下の延長コードを使用している。 たこ足配線をしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・電圧降下 赤色ランプが点灯している。 ● ポンプ電源の未接続、または接続不良や空焚き（コントローラーをタンクから出して横にしたまま使用等）等によりヒーターの温度が異常に上がり、ヒーターの過熱防止装置が働いている。 ● ヒーターが故障している疑いがある。 （コントローラーのヒーター通電中 橙色ランプが点灯しているのに水温が上がらない。） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水位線（種モミが十分つかる）まで、給水する。 ● 屋内で使用する。 保温カバーを取付ける。 ● 電流容量15A以上の延長コードを使用する。 たこ足配線をやめる。 ● ヒーターの過熱防止装置が働いた後、ヒーターが冷えるまでヒーターが動きません。 下表の〈ヒーターが働くようにする方法〉を参照してヒーターの過熱防止装置が働いていないか確認してください。 ● 下表の〈ヒーターが働くようにする方法〉を参照してヒーターの過熱防止装置が働いていないか確認してください。
<p>※ ヒーターを交換する前に、必ずヒーターの過熱防止装置が働いていないか確認してください。下表の〈ヒーターが働くようにする方法〉を参照。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● タンク内水温が0℃より低くなっている。 （現在水温表示が【Lo】となっている。） ● ヒーターが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●【Lo】表示の場合、ヒーターに通電しません。 タンクの水を0℃以上の水に入れ替えるかお湯を足してタンク内の水温を上げる。 ● ヒーターを交換する。 お買い上げの販売店にご相談ください。

〈ヒーターが働くようにする方法〉

ヒーターを10℃以下の水に15分程度つけて冷やすと、再度ヒーターが働くようになります。

不調時の処置

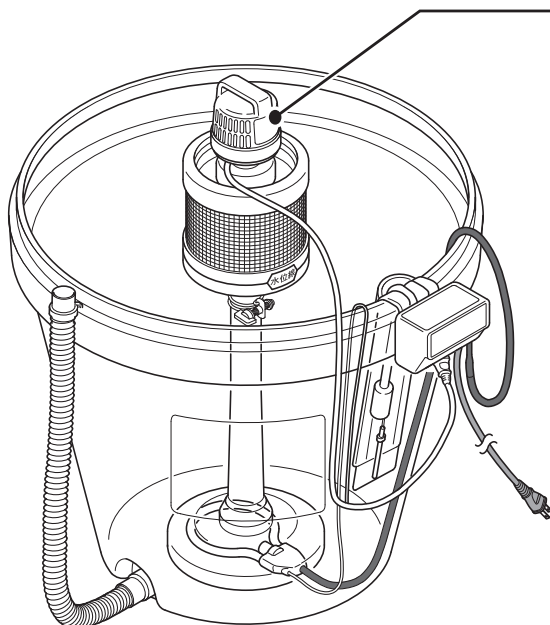
- 水が水位線まで入っていても水不足ランプが点灯しヒーターが働かない場合、または水が水位線まで入っていないのにヒーターが働く場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ※ 水不足の場合、フロートスイッチが働かずヒーターの空焚きにより火災の原因になります。

原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> ● フロートスイッチが働いていない。 種子消毒剤によっては、本催芽機を使用すると粘着物（黒色）が発生する場合があります。 粘着物等がフロートスイッチに付着するとフロートスイッチが働かなくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時には


- 万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し、催芽機の電源を「切」にし、コントローラーの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ご連絡の場合は、次の点を連絡してください。

- ・ 製品の型式及び製造番号
- ・ お買い上げ年月日
- ・ 故障内容（できるだけくわしく）



LW37-3201 型式ラベル

遠赤曝気式催芽機 型式 LW-37


 電圧100V, 消費電力510W
 周波数50/60Hz, 屋内用
みのる産業株式会社
 モーター消費電力10W, ヒーター消費電力500W
 ※※※※

製造番号

LW65-3203 型式ラベル

遠赤曝気式催芽機 型式 LW-65


 電圧100V, 消費電力918W
 周波数50/60Hz, 屋内用
みのる産業株式会社
 モーター消費電力18W, ヒーター消費電力900W
 ※※※※

製造番号

補修用部品供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期限)は、製造打切り後9年といたします。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、
供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格について、ご相談させていただきます。

保証書

※ 本書は再発行しませんので大切に保存してください。

保証規定

1. 保証期間内(お買上げ日より1ヶ年)に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - (イ) 取扱説明書の注意事項を守らなかった場合
 - (ロ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ハ) お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷
- (ニ) ご購入時に「お買上げ日」「販売店名」が未記入、あるいは字句を書き換えられた場合

保証期間	1ヶ年
お買上げ日	年 月 日
お客様 住所	
〒	TEL
ご芳名	様

販売店 住所	
店名	印
	TEL



みのる産業株式会社

本社工場 〒709-0892 岡山県赤磐市下市447
TEL (086) 955-1123 (代) FAX (086) 955-5520

東京支店 〒337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野210
TEL (048) 683-9451 (代) FAX (048) 683-9452

長野営業所 〒389-1104 長野県長野市豊野町浅野582-4
TEL (026) 257-6530 (代) FAX (026) 257-6531

徳島営業所 〒771-1151 徳島県徳島市応神町古川字東197
TEL (088) 641-2311 (代) FAX (088) 641-2324

九州支店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1020-1
TEL (092) 921-6006 (代) FAX (092) 921-6008

ホームページ <https://www.minoru-sangyo.co.jp>